

上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画（案）への市民の御意見と市の考え方

◇意見募集期間 令和3年12月24日（金）～令和4年1月24日（月）

◇意見応募結果 応募者数8名 意見数27件

※「区分」…「○」：意見を反映し、修正したもの。「－」：修正しなかったもの。

No.	ページ	項目	御意見	市の考え方	区分
1	3	広域化の効果	広域化と単独自治体の比較内容も示さず効果があると示すのではなく、その比較検討したものを示し具体的な効果を提示、意見を求めるべきだと考えます。	当計画記載の広域化の効果については、国や県が提示している効果を参考に記載しております。具体的な比較については、新施設の整備内容や処理工程により、今後策定予定の施設整備基本計画など、機会ごとに検証してまいります。	－
2	3	表1-1 減量化・資源化	「広域的に資源物を集めることによって、効率的なマテリアルリサイクルを推進するとともに、焼却量の減量化を図ることができる」となっていますが、各自治体が基本的にごみの抑制とリサイクルを行うことで達成できると考えます。	該当の広域化の効果については、国や県が提示している効果を参考に記載しております。広域的に資源物を集めることによって、安定的に必要な量を確保でき、効率的なマテリアルリサイクルを推進することが期待されます。しかしながら、両市町の資源物量によっては、現在と同等の効果である可能性もあるため、「広域的に資源物を集めることによって、効率的なマテリアルリサイクルを推進するとともに、焼却量の減量化を図ることができる場合がある。」と変更いたします。	○
3	3	表1-1 経費	「施設を集約化し、広域的に処理することにより、建設費や維持管理費を削減することができる」としているが、個別と集約した場合の概算費用、経費を記述すべきと考えます。	該当の広域化の効果については、国や県が提示している効果を参考に記載しております。個別施設を集約した際の具体的な概算費用、経費については、新施設の整備内容や処理工程に関わりますので、今後策定予定の施設整備基本計画においてお示しいたします。	－
4	3	表1-1 環境	「広域ごみ処理施設は、焼却によって発生する熱を利用した発電等が効率的に行える」、「ごみ処理施設を集約化し、全連続炉（24時間稼働）にすることにより、安定的な燃焼状態を維持できる」、「ごみ処理技術を高度化できるため、ダイオキシン類の発生を抑制する」と記述されていますが、広域でない①廃熱利用、発電が効率的になぜ行えないのか、②安定的な燃焼状態がなぜ維持できないのか③ごみ処理技術の高度化はできないのかの説明、判断基準を記述すべきです。	該当の広域化の効果については、国や県が提示している効果を参考に記載しております。そのため、広域化することで、個別に同規模の施設で処理すること比べて①焼却によって発生する熱を利用した発電等が効率的に行えるようになり、24時間稼働していない準連続炉と比べて、②安定的な燃焼状態を維持でき、③ごみ処理技術を高度化できるとしています。具体的にどの程度の効果があるかは、新施設の整備内容や処理工程に関わりますので、今後策定予定の施設整備基本計画においてお示しいたします。	－
5	4	建設候補地	「候補地は、原市沼川と県道さいたま菖蒲線に面しており、南側には、都市計画道路上尾伊奈線が計画されている」と記述されていますが、現在の土地利用状況、自然環境、具体的には野生動物の生息状況、鯉や亀、メダカなどが生息している原市沼川の状況など具体的に記述すべきだと考えます。	自然環境等の具体的な表記は、今後実施を予定している環境影響評価で実態をしっかりと調査し公表してまいります。	－
6	4	広域目標年次	当該施設内及び施設周辺の環境への配慮を要望する。※該当箇所：当該計画案P4の最終行～P5で言及されている環境影響評価	環境影響評価を行い、施設整備において、周辺環境に与える影響を予測し、対策を検討してまいります。	－

No.	ページ	項目	御意見	市の考え方	区分
7	5	事業スケジュール	現施設の老朽化の状況を踏まえ早急に整備の検討をし、予定されたスケジュールよりも、可能な範囲で前倒して進めていってほしい。	施設稼働まで必要な整備事業を基に、現在のスケジュールを計画しているため、現時点で期間の短縮を検討することは難しいですが、進捗状況に応じて対応してまいります。	—
8	7	広域処理の基本方針	6では「ごみ処理に係る基本理念、基本方針」として上尾市、伊奈町の基本方針を示しているが、当項では理念がなくなり「基本方針」のみとなっています。理念、基本方針とすべきだと考えます。 理念として、例えば ①環境保全に配慮し地球温暖化対策に貢献する施設 ②安全・安心・安定的な処理が確保できる施設 ③災害廃棄物処理への対応ができる施設 ④経済性に優れた施設 などとし、基本方針を記述すべきと考えます。	ご指摘いただいた箇所は、両市町の一般廃棄物処理基本計画の「基本方針」ではなく、正しくは「基本理念」になります。そのため、節のタイトルを「6. ごみ処理に係る基本理念、基本方針」から「基本方針」を削除、同ページ「1）上尾市」及び「2）伊奈町」内の「～における基本方針」を「～における理念、目標」に修正、7ページの「7. 広域処理の基本方針」の文章中、「～における基本方針」を「～における基本理念」に修正いたします。また、「7. 広域処理の基本方針」については、両市町のごみ処理に係る基本理念等を基に定めたため、原案のままとさせていただきますが、いただいた施設整備の基本方針は貴重な意見として承ります。	○
9	8	方針2	新たに整備するごみ処理施設については、環境性も踏まえ、都市ガス（天然ガス）供給による、エネルギー多重化を図る計画とすることを提案いたします。 【理由】 都市ガス（天然ガス）は、化石燃料の中で最も環境負荷が少なく、環境負荷低減に寄与するエネルギーです。 加えて、阪神淡路大震災以降の地震等の災害において、ガス供給を継続した実績のある中圧導管を活用することで、ごみ処理施設の機能を継続的に維持することが可能となります。 また環境省「エネルギー回収型廃棄物処理施設整備マニュアル」では「都市ガスの中圧導管は耐震性を有している場合が多いので燃料として都市ガスの採用を視野に入れること」とされ、高効率エネルギー回収と災害廃棄物処理体制の強化の両方に資する、包括的取り組みを行う施設への「循環型社会形成推進交付金」制度も設定されております。 都市ガス（天然ガス）中圧導管は、こうした点からも寄与できるものと考えます。	貴重なご意見として承り、施設整備については、今後策定予定の施設整備基本計画において、検討してまいります。	—

No.	ページ	項目	御意見	市の考え方	区分
10	8	方針3	「環境学習など啓発に努め」とあるが、本基本計画内に環境学習に関する記載がない。本施設には、次世代の子どもたちが学べる学習施設としての一面をもってもらいたいと思っているので、現在の状況や今後の目指すべき施設像なども含め、計画内に記載すべきと考える。	ご意見いただいたとおり、環境学習機能など、新たな価値を創出するごみ処理施設を整備していくことが必要です。貴重なご意見として承り、施設整備については、今後策定予定の施設整備基本計画において検討してまいります。	—
11	22	2. 現有処理施設	西貝塚環境センターの跡地利用はどうするのか。広域化の検討にあたっては、跡地の利用も一緒に検討するべきではないか。施設を廃止する際には、余熱利用している健康プラザわくわくランドの廃止も一緒に検討してもらいたい。環境センターのパーターで建てた施設なら、環境センターの廃止とともに廃止してもよいのではないかと。ただ漠然と残す選択をするのではなく、しっかりと施設の在り方（利用料等も含めて）の検討をしてもらいたい。	西貝塚環境センターの跡地利用等については、現時点では決まっておりません。また、健康プラザわくわくランドの対応についても同様に決まっておりません。上尾市の公共施設マネジメントの関連も含めて、検討を進めてまいります。	—
12	60	ごみ処理有料化について	何を意図して記述されているのか不明です。ゴミの減量化を実現したいために市民に問題意識を持ってもらうためにこの項を設けられたものであれば理解します。しかし、広域化に合わせて実施するために設けられたものであるとすればどさくさ紛れの感が否めません。有料化を提起するのであれば別途市民に提起すべきと考えます。	当計画のごみ処理の有料化の検討については、ごみ処理の有料化の制度概要や他市町村の動向などを確認するものとしております。具体的な協議の際は、ご意見のとおり別途市民に問題提起していきたいと考えます。	—
13	66	ごみ処理方式について	5行目以降に挿入 ・プラスチック製容器包装等は圧縮過程で人体に影響を及ぼす多くの化学物質が発生することが確認されているためその処理方法を慎重に検討していく。	当該項目でいうごみ処理方式とは、炉の方式や熱利用などを表記しており、プラスチック製容器包装等の圧縮など具体的な工程についての表記は適さないと考えます。また、ごみ処理場において、プラスチック製容器包装等の圧縮の際に人体影響に及ぼす化学物質が発生する事例を把握しておりません。	—
14	82	表6-2 上尾市の現分別体制との変更点	近隣自治体と比較して過度な分別への負担が生じないようにしてもらいたい。	詳細なごみの分別案につきましては、施設の整備内容や処理工程に関わるため、施設整備基本計画の際に、環境面や市民負担など総合的に検討してまいります。	—

No.	ページ	項目	御意見	市の考え方	区分
15	全体		地球温暖化については、自動車工業会でさえ、日本が競争力を失いかねないと警告していることであり、世界の若者が「気候正義」を掲げて立ち上がっています。豊かな国が二酸化炭素を排出し、貧しい国の人々が苦しんでいる。地球に愛着があるので、自分たちの未来を壊さないでほしいということです。大量生産や消費、「食品ロス」の生活の有り様を見直そうと啓発してほしいです。	住民にごみの分別を促すだけでなく、大量生産や消費、食品ロス問題のようにリデュースも含めて取り組む必要があると考えます。そのため、ご意見いただいたとおり、従来の生活様式を見直す機会と捉え、意識啓発に努めてまいります。	—
16	全体		プラスチックゴミについては、国の新しい基準がどのようになるのかわかりませんが、これまで途上国に運んだり、海洋汚染が深刻になっています。また、化学物質過敏症により命の危険に晒されている方もおられます。市民へ分別やリサイクル、リユースへの協力をお願いすることはもちろんのこと、なるべくプラスチック製品は買わないよう啓発してほしいと思います。	引き続き、国の新しい基準や制度に注視しながら事業推進を図るとともに、プラスチックごみ削減の啓発を進めてまいります。	—
17	全体		上尾市と伊奈町と統一することだけに終始している。12年も待っていて良いのでしょうか。 COP26では地球温暖化は危機的状況にあることが議論されました。もう待たなすです。CO2削減に向かってすぐに行動しなければならないはずはすです。	施設稼働まで必要な整備事業を基に、現在のスケジュールを計画しています。 そのため、施設稼働までは、CO2削減施策として現行の補助金や啓発事業などを推進するほか、国や県と歩調を合わせ、実現可能な施策から実施してまいります。	—
18	全体		今治市クリーンセンターのコンセプト「安全・安心で人と地域と世代をつなぐ」はどこの市においてもとても大切なことだと思います。焼却炉に対して、多くの人はゴミの匂いと燃やされた後に出る煙などによる空気汚染のイメージを抱いているため、住民による建設反対がある中で、住民から歓迎されて建設された「今治市クリーンセンター」に大変興味を湧きました。 焼却炉が建設されれば、何十年と利用されることになるでしょう。どうか次世代に安心して引き継げる焼却炉をお願い致します。	近年、ごみ処理施設には、防災拠点の役割も期待されており、ハード・ソフト両面からの災害対策など地域に歓迎される施設を検討したいと考えております。つきましては、他自治体の例を参考に今後策定予定の施設整備基本計画において、検討してまいります。	—
19	全体		従業員及び住民の健康と環境への影響をできる限り少なくするごみ処理方法の採用と、そのようなごみ処理施設の設計等を行うことを盛り込むよう要望する。	処理方式及び施設整備については、今後策定予定の施設整備基本計画において、検討してまいります。	—
20	全体		環境評価は、どこが、どのような手順で行うのか、具体的に示して頂きたい。	環境影響評価につきましては、事業主体が県のマニュアルのとおり実施してまいります。	—
21	全体		まずは上尾市と伊奈町の担当者の方々に本件問題について勉強とご理解を頂き、一般市民から見ても明確に安全性が分かるようなごみ処理施設の設計及び環境評価をして頂くよう、強く要望する。	引き続き情報収集などを進め、知識習得に努めるとともに、より良い施設設計及び環境影響評価を実施してまいります。	—

No.	ページ	項目	御意見	市の考え方	区分
22	全体		当該ごみ処理施設でプラスチックの圧縮は行わないよう強く要望するとともに、社会全体から見てプラスチックのリサイクルは行うべきではないことを強調して申し上げる。 消費者が出すプラスチックごみの減量と、企業に健康被害や環境汚染を引き起こさないプラスチック製造を求めていくことが重要であり、上尾市に率先して努めるよう要望する。	プラスチックごみの処理工程については、先行事例などを参考に安全性や効率面など様々な視点から検討してまいります。 また、プラスチック製品の安全基準については、国の基準によるもので市独自の基準設定は難しいと考えますが、引き続きごみ減量は推進していきます。	—
23	全体		当該ごみ処理施設でも、全貌把握の完全分析実施と変動汚染モニターで常時記録を行うよう、要望する。	貴重なご意見として承り、施設運営については、今後実施予定の事業者選定において、検討してまいります。	—
24	全体		人家が少なく強い川風がごみ処理施設の排気を吹き飛ばす荒川沿いの広い場所（西貝塚環境センターのような立地条件）や、伊奈町東部の人家が少ない田園地帯の土地を広く確保して建設することを、要望する。	当建設候補地は、平成31年度策定の候補地選定基準により抽出された土地と公募により応募があった土地から、同年度策定の候補地評価基準により審査され、決定した土地となっております。	—
25	全体		上尾市ゼロカーボンシティ宣言から省エネルギーの徹底した取組やエネルギー消費効率の一層の改善を進めていくとされていますが、発電（ソーラー含めて）などは必要ではないでしょうか。燃やすことから発生する熱エネルギーの回収も。	施設整備については、今後策定予定の施設整備基本計画において、検討してまいります。	—
26	全体		循環型社会の構築に不可欠な3R（リデュース<Reduce>、リユース<Reuse>、リサイクル<Recycle>）の取組を広域化することで、効率的で効果的な運用に繋げ、環境負荷の低減を図るとされていますが、家庭生ごみ（厨芥類）のリサイクルを実装すべきではないでしょうか 又可燃ごみの中の紙類のリサイクルを徹底すべきではないでしょうか。協力した住民には自治会毎に地域ポイント地域通貨を付与するなど効果的ではないでしょうか。	家庭生ごみ（厨芥類）のリサイクル施設については、今後策定予定の施設整備基本計画において、検討いたします。 また、紙類のリサイクルについては、雑紙のリサイクルを推進していますが、まだまだ可燃物の中に紙類が入っているため引き続き周知・啓発していきます。 なお、現在実施中の地域リサイクル事業では、実施団体に報奨金の支払いを行っております。地域の効果的なリサイクル事業については、今後も検討してまいります。	—
27	全体		市民の環境教育（循環型社会の構築に不可欠な3Rなど）の場としての対応システムも実装すべきではないでしょうか。 （北九州市など見習うべきではないでしょうか）	ご意見いただいたとおり、環境学習機能など、新たな価値を創出するごみ処理施設を整備していくことが必要です。 貴重なご意見として承り、施設整備については、他自治体の例を参考に今後策定予定の施設整備基本計画において検討してまいります。	—